

BPW Newsletter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Club of JAPAN



2008.4.10

Vol.92

【特集】

第43回日本BPW連合会 「福岡大会・総会」

CONTENTS

- 巻頭メッセージ
『50年の歴史の重みと更なる
飛躍を期待して』
福岡クラブ会長 高山史子
- 福岡大会・総会報告
・第43回日本BPW連合会総会
・BPWパートナーシップ エバリュエーション賞
・公開シンポジウム要旨
・ワークショップ報告
- 第5回ヤングスピーチコンテスト
全国大会審査結果
- CSW インターン第5期生帰国速報
- 日本BPW連合会50周年記念
イベントのお知らせ
- メキシココンGRESS最新情報
- ブロック研究会のお知らせ
- 会報39号掲載広告ご協力一覧

日本BPW連合会ニュースレター

発行人：黒崎伸子 広報委員会編集

日本BPW連合会 事務局

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 3-5-12-116

TEL.03-3348-7644

FAX.03-3348-7648

E-mail=pub@bpw-japan.com

ホームページ URL

http://www.bpw-japan.com

「50年の歴史の重みと更なる飛躍を期待して」

BPW福岡クラブ「福岡虹の会」会長 高山史子

この度は日本BPW連合会50周年記念福岡大会に、北は北海道の旭川・札幌・苫小牧から、南は長崎まで全国各地のクラブからご参集いただき、会を盛り上げていただいております。全国から多くのお仲間をお迎えできたことは、私どもにとりまして、何よりの喜びでございました。心から感謝いたしております。

私どもは、半世紀に一度しかない記念大会開催を引き受けたからには、この大会を意義あるもの、即ち、外に向かつては50年の歴史を持つBPWをPRし、内に向けては、50年の歴史の重みを共有し、BPWのアイデンティティを再確認し、更なる50年に向けて出発する、その起点となる、そういう大会にしたいと決意し、会員一同、その実現に向けて結集努力してまいりました。

ひとつは、公開の「車座トーク」です。まず、BPWの統一テーマ「New Dimensions of Leadership」について私どもなりに議論をし、そのひとつのあり方として、リーダーとサブリーダー・仲間との相互関係が組織の活性化、目標の達成に結びつくものではないかと考えて企画したものです。お陰様で多くの一般の方々のご参加を得ることができました。

他のひとつは、映像で見るクローズアップ「福岡の女性たち」です。「福岡虹の会」誕生の必然性、その足跡を辿り、今を見つめ、これからのBPWの在り方を考える、その縁になればと企画しました。50年前、女性が働くことが例外だった時代、男女差別は目に見えていました。今や機会均等。でも現実には、与えられた機会を前に躊躇する女性の姿が見られます。国際的立場と同時に国内的に社会の奥底深くに沈殿しているインプットされた「当然」を突き出すのもこれからのBPWの役割の一つではないかと考えております。また、ヤングスピーチコンテスト、ワークショップ、パネルディスカッションも、連合会役員や各クラブの皆様の尽力やご協力でそれぞれ実のあるものになったと思っております。

このような機会をいただき、わが福岡クラブもほぼ全会員が運営にかかわったことによって、久々に顔を合わせ、自分の持ち場で生き生きと働き、絆を強めることができたような気がします。これも、全国の会員の皆さまのご参加あってのことであることを、終って改めて痛感いたしております。大会運営に当たり、行き届かない点多々あったのではないかと反省もしておりますが、お仲間のよしみでお許し下さいますよう、お願い申し上げます。

次は、50周年記念全国シンポジウムで、また、来年の札幌大会で再会できますことを心から期待しております。



日本 BPW 連合会 50 周年記念福岡大会・第 43 回総会報告

第 43 回福岡大会が、2008 年 2 月 16 日～17 日に福岡市内の福岡ガーデンパレスにおいて開催された。全国から 143 名が参加した。初日は、第 1 部公開シンポジウム“平等社会へエンパワーメント”では、ヤングスピーチコンテストに続いて「リーダーとその仲間たち」というタイトルでくるま座トークが行われ、その後 JOY 倶楽部ミュージックアンサンブルによるミニコンサート“博多の森から”が行われた。第 2 部のワークショップでは、「ワーク・ライフ・バランス」「BPW の国際的立場について」「9 条世界会議に向けて」の 3 つの分科会を実施。第 3 部ではセレモニーの前に福岡クラブ作成の「福岡の女性たち」のスライド上映でこれまでの歴史と女性たちの活躍ぶりを再確認し、交流会では地産地消をテーマとしたおいしい料理にあまおうのサプライズプレゼントと、福岡ならではの企画が盛り込まれていた。2 日目は「BPW とは？ 過去 50 年を振り返り、これからを考える」と題したパネルディスカッションと指定発言で、法人化を含めた意見交換を行い、その後の総会も篠崎議長のスムーズな進行により、議事はすべて議案どおりに承認・可決された。担当の福岡クラブの皆様の素晴らしい準備と運営に感謝！

第 43 回日本 BPW 連合会総会

議長 (福岡) 篠崎正美・岩城和代
書記 (福岡) 高木俊子・久保カヨ子
定数 71 名 出席 63 名

議 事

1. 第 1 号議案 議題についての承認 稲垣事務局長

＜拍手にて承認＞

2. 第 2 号議案 2007 年度事業報告 稲垣事務局長

企画委員会報告 佐藤委員長
組織委員会報告 遊佐副会長
広報委員会報告 二ノ宮委員長
国際委員会報告 余語副会長
財務委員会報告 土田委員長
ヤング委員会報告 堀委員長

＜ 質疑応答 ＞

武蔵野クラブ 豊田キヨ子氏

①「1 月末に HP を見たが古い情報が記載されている。特に英語版は世界に発信しているものであるので正しい情報を出すことに努めてほしい。」

事務局

「年末に一通り洗い出しをして更新をした。英語版も更新したが、再度点検し修正したい。」

②「スイスコンGRESSで日本 BPW が従軍慰安婦問題で十分対応できなかったという反省があったが、この 3 年間どう対応したのか。メキシコではきちんと対応してほしい。」

議 長 「ご意見をいただいたということで、事務局で対応をお願いします。」

北九州クラブ 花崎正子氏

「HP での情報、未来情報の発信をきちんと正確にお願いしたい。」

＜報告事項拍手にて承認＞

3. 第 3 号議案 2007 年度会計報告・会計監査報告

2007 年度会計報告 藤田会計

2007 年度会計監査報告 高嶋会計監査

＜報告事項拍手にて承認＞

4. 第 4 号議案 2008 年度統一テーマ (案)・活動方針 (案)

黒崎連合会会長

＜賛成 63 反対 0 保留 0 満場一致にて可決＞

5. 第 5 号議案 2008 年度事業計画 (案) 稲垣事務局長

＜質疑応答＞

武蔵野クラブ 豊田キヨ子氏から 2 件要望

「50 周年記念シンポジウム (6 月 14 日) の開催時刻など早めに知らせてほしい。」「【国際】(3) アジア太平洋地域における連携強化に関して情報を早めに教えてほしい。」

＜賛成 63 反対 0 保留 0 満場一致にて可決＞

6. 第 6 号議案 2008 年度予算 (案) 藤田会計

＜質疑応答＞

香川クラブ 片山美代子氏

「NPO 法人になると、予算書が一般公開されることになるが、その他の収入の欄の半額寄付の表現は理解が得られないのではないか」

＜賛成 63 反対 0 保留 0 満場一致にて可決＞

7. 第 7 号議案 選挙管理委員の選任 稲垣事務局長

＜拍手にて承認＞

8. 第 8 号議案 その他 なし



2008 年度日本 BPW 友の会総会報告

日時：2008 年 2 月 17 日

会場：福岡ガーデンパレス雲仙の間

第 43 回日本 BPW 連合会総会後、友の会総会が開催された。また、友の会総会後「懇談会と映像のつどい」が催され、平松昌子友の会会長が国連 NGO 国内婦人委員会 50 周年記念報告および中東交流事業からのエジプト女児教育への直接的援助を訴えるパワーポイントの上映も行った。

2008 BPW パートナシップ エバリュエーション賞 福岡県知事 麻生渡氏

北九州市戸畑区出身。京都大学法学部卒業後、通産省に入省。その後特許庁を経て、1995年に福岡県知事に初当選。以来、今日まで県民のための県政に邁進されるに止まらず、広く九州全域への発信に努められ、2003年には九州地方知事会長に就任され、更に、その地方自治に対する識見、政治手腕は高く評価されて、2005年には全国知事会長に就任されました。特に、働く女性に関する施策にも、広く人知を求め、柔軟な施策を展開されました。その例は、

- ①2代に互る女性副知事登用
- ②女性副知事サミット開催
- ③審議会への積極的な女性登用
- ④「女性研修の翼」事業の継続等、女性の地位向上に向けた施策
- ⑤男女共同参画表彰
- ⑥子育て応援宣言企業制度の創設とその普及
- ⑦谷亮子氏に対する“子育て金メダル荣誉賞”贈呈
- ⑧その他、働く女性の環境整備に対する積極的施策

⑨女性農業委員や農協役員の増員等、広い分野での民間との協働

⑩GOとNGOのパートナーシップ推進

などなど、いずれも具体的で、県民の目に見え、福岡県の女性の活力、行動力の源でもあります。

私生活では、6人のお孫さんたちの良きおじいさま。明るく、物事に拘泥せず、集中力、忍耐力抜群であられます。また、趣味は、囲碁5段、柔道4段、ドライブ、お寺巡りと多彩です。



(写真: 受章&挨拶代読の海老井悦子福岡県副知事)

公開シンポジウム くま座トーク 「リーダーとその仲間たち」 次世代を育て社会を変える情熱

公開イベントは、喜多悦子氏と坂本洋子氏(日本赤十字九州国際看護大学学長と同副学長)新開玉子氏と浜地かね子氏(元福岡県女性農村アドバイザー、新開氏は農産物直営店「ぶどう畑」代表、浜地氏はいちご農家)の4人をお迎えしてくま座トーク「リーダーとその仲間たち」として行った。聊か風変わりなこの形はBPW-Iの統一テーマ「New Dimensions of Leadership」についての「福岡虹の会」なりの考えを表現したものである。新時代のリーダーとは、傑出した立場から絶対的指導力を揮う人ではなく、すぐれた副官とチームを存在させることができ、相互作用によってチーム全体の成長をもたらす人なのではないだろうか。そう考えた我々はリーダーとその仲間とを、しかも、一組でなく二組、登壇して頂くことにしたのであった。

喜多悦子氏は国際保健、災害援助の専門家として他に類のない経験をお持ちであり、広く高い視野から次々に繰り出されるスケールの大きい提案の実現には、周りの全員に自分の枠を大きく超える厳しい挑戦が要求される。「それをやろうという気持を支えるのは深い尊敬と信頼です」と坂本氏は語られた。次世代を育てるといふ社会的責任を当然のこととして引き受けているお二

人の姿勢に深い感銘を覚えた。また、新開氏と浜地氏の、方言も交えたいきいきとしたお話は、「農村女性アドバイザー制度」から生まれた連帯の楽しさと強さ、手をつなぐことから幾倍もの力が引きだされるということを如実に窺わせ、「私も仲間に入りたい」という気持ちにさせられた。「食から社会を変えたい」という新開氏、共鳴して協力を惜しまない浜地氏。地に足をつけながら、しかし、楽しい活動の中で情熱の方向が自然に己より社会に向かっていくという点が、前のお二人と共通する要素であろうか。すぐれたリーダーに率いられた楽しいチームの一人となるには自分は何をなすべきかを、改めて考えさせられた90分であった。

(「くま座トーク」コーディネーター・因京子=福岡クラブ会員)



ワークショップ報告

<第1分科会「ワーク・ライフ・バランス」>

報告者:名取はにわ(東京)・平松昌子(東京)

コーディネーター:余語三枝子(アイリス東海)

記録担当:富安節子・平郷有希子

参加人数:61名(非会員3名) **会場:**3F 霧島

目的:一人一人が様々な希望や可能性が実現できる豊かな社会の実現は、女性だけではなく全ての男女にとって共通のテーマである。その実現に向けて、政府への提言をまとめると共に BPW としての具体的な取り組みを考える。

討議内容:

1. ワーク・ライフ・バランスの推進に向けて(名取はにわ)

ワーク・ライフ・バランス(WLB)の政策は男女共同参画の実現のための大きな役割をなしている。

イギリスのブレア政権の時は少子化対策のために WLB に力を入れることにより出生率が上向いた。日本では、少子化の原因を女性の社会進出にあると考えられていた。OECD の 1970 年から 2000 年の調査では 24 カ国の中で、女性の社会進出がもっとも少なかったのは日本である。日本では女性が働きながら子供を産むと離職しなければならない傾向が強かった。均等法制定後も、出産後の女性の離職率は改善されずかえって高くなっている。一度、離職すると正社員の道が閉ざされ、パートとして職につくものの、その給料は男性の4分の1(賃金1/2・時間1/2)にしかない。

WLB において、今の男性の長時間労働では無理なので、男性の働き方を変えること、男性の家庭への参加等が必要となる。少子化が進んでいることに企業は目を向けはじめ、WLB に対する理解が進み始めた。経済財政諮問会議において、6月に骨太方針が発表され、その中に「WLB 憲章の制定」が含まれており、推進トップ会議が設置された。12月に「WLB 憲章」が発表され、さらに、3月には、男性の育児休業の取得率の増加や家事時間の増昨年加等についての数値目標を設定する方向である。

2. リレーシンポジウム(平松昌子)

通常、政府の考えは民の考えをなかなか反していないが、WLB に関しての政府の考えは将来を見据えている感がある。仕事と生活の調和とは①自分の再生産(寝る食べる)②生きるための活動(職業)③人間としての時間(家族、社会と趣味教養などの時間)、この3つの要素がバランスをとっていることが必要である。

BPW では、国の委託を受け、WLB に関して全国5カ所(山形・東京・長岡・名古屋・長崎)のリレーシンポジウムを開催した。パネリスト4名は、男性2名女性2名、子育て世代と子育てが終わった世代を選び、女性は仕事をしてきたか、現在も仕事をしている人を選び、内閣府

男女共同参画局から1名出席した。(各地のパネリストについて詳細な説明)

シンポジウムの結果、現在の子育て世代は仕事のあななしを別にして、夫婦の協力が大事であるという意見を持つ人たちが増え始めている。

このリレーシンポジウムのまとめは内閣府に提出予定。

次に会場から、シンポジウムを行ったクラブおよびヤングスピーチコンテストの出場者より感想や意見が出された。

提言:全国5ブロックで開催された WLB のリレーシンポジウムの報告を受け、また国でも WLB 憲章の制定や数値目標の制定などをかんがみて、BPWでも2007年度に引き続きこの問題に取り組みたい。今回参加しなかったクラブは2008年度の事業計画に入れ、一人一人の多様な生き方・人生を選択できる社会の実現に向けて引き続き研究を継続することを提言する。

<第2分科会「BPW の国際的立場について」>

報告者:黒崎伸子(連合会会長、長崎クラブ)

コーディネーター:塩崎智子(連合会副会長、和歌山クラブ)

記録担当:村山由香里、田邊義子(福岡クラブ)

参加人数:42名(非会員3名) **会場:**3F 桜島

目的:BPW 活動において、国際的活動の占める割合も年々増大し、特に BPW-International の一員として他の国々からの期待も高い。しかし、BPWI との連携やコンGRESへの参加などでは、各クラブや各会員の認識に差があることも事実である。2008 年秋のコンGRESを控えて、会員どうしの話し合いを通じて、BPW における国際的事業を見直し、今後の活動について考えたい。

討議内容:

1. BPWI の活動についてのプレゼンテーション

●BPWI は、1930 年創設。かつては 10 万人から 20 万人の会員がいたが、現在、90 カ国 3 万人。BPWI の使命は、すべてのレベルにおける女性たちの職業的水準の向上。現会長がタイ在住(40 代半ば)なので、事務所はタイにある。BPWI の組織や各種委員会を紹介。

●BPWI に入会すると12のメリットがある。例えば、オンラインに登録すると、いろんなメールが届く、また、直接各国の人たちとつながることができる、国連のカンファレンスにどんなことがあったかを知ることができる。さらにはさまざまな語学の研修にもなるなど。

●BPWI はメキシコに看護学校を作り、運営するなどの支援事業を行っている。

●会員増強に努めていて、2008 年 7 月までに 10 人以上の新会員を獲得したら、メキシコのコンGRESに行ける

無料航空券を進呈する。

2. 日本 BPW 連合会の国際的活動ではどんなことをやっているか

●国際の役員に日本から送ることが大事だ。そうすれば、国際的な活動が見えてくる。

●BPWのミッションに働く女性の地位にあるが、日本では働く女性の非正規化が進んでいる。同じような問題をかかえているアジア諸国などと意見交換をして取組むようなことで国際視野が広がらないか。

●国際委員会の活動が不十分で、状況が把握できない。会長までは連絡がきても、会員に伝わらない。

●スイスの kongress から登録料が高くなっている。そのために出席できない。

●ソロプチミストは国際的な活動をしているが BPW との違いは？

●国際 kongress に参加したことがある人は数人。英語ができないと難しい。参加申し込みも個人でインターネットから申し込むので参加しにくい。

●連合会でもクラブでも、他の国際的団体と交流していっしょに活動してはどうか。

3. 各クラブにおいては..

●東海クラブは、海外からの女性留学生に奨学金を 10 万円、送っている。このような支援が将来につながるのではないか。

●日本がやるべき国際的な活動とは何かが明瞭でない。

●機会があったら国際交流をしたいとは思っているが…。また、交流をしたとしても単発的で、なかなか継続していかない。語学の問題など…。

●海外との連絡などに対応できる事務局体制をしっかりとする必要があるのではないかな？

●全クラブが他国のクラブと姉妹クラブ (twinning) になって継続的交流をしてはどうか。

提言：

1. BPW kongress に日本から役員を送ることで国際的な情報を得る。
2. アジア太平洋の地域との積極的な交流をする。
3. 事務局体制をしっかりと (人を常駐) する必要がある。
4. twinning を行うなどで、国際的視野を持って交流をしていく。

<第 3 分科会 「九条世界会議」

スイス kongress の決議案を踏まえて>

報告者：豊田キヨ子・大森澄子・高岡日出子 (武蔵野)

記録担当：鈴木 久子・竹下 乃理子 (福岡)

参加人数：18 名 (非会員 1 名) 会場：4F 桐

目的：国連決議 1325 (戦時下の女性に対する暴力) を検証する。日本国憲法について討議し、平和を希求する。

討議内容：オーストラリア kongress に出席以来、武蔵野クラブ会員が長年にわたって行なってきた研究会の報告が以下の 3 点について報告され、「9 条世界会議」開催を前にして、BPW が何らかのリーダーシップを発揮すべきではないか、という提案があり、フリーディスカッションにはいった。

【報告】

(1) スイス kongress で圧倒的多数で可決された「慰安婦に関する決議」について、日本 BPW 連合会は反対の意思表示を行ない、また、日本国政府による十分な行動が実行されていないのが現状である。こういった事情に対し、カナダ BPW からは催促を受けており、メキシコ kongress を迎えるにあたり、日本 BPW としても何らかの行動を起こすべきである。

(2) 9 条問題 戦争放棄を規定した憲法は世界に日本とコスタリカの 2 国のみであり、誇るべきものである。日本国憲法は米国から押し付けられたものと言われているが、事実についてもっと学ぶ必要がある。映画「日本の青空」の紹介。

(3) 国連安全保障理事会 1325 決議案は、「国際平和と安全の保持は国連安全保障委員会の主要な責務である。紛争下における一般市民、特に女性、子どもに与える影響は甚大なものである (以下略)」とし、カナダ BPW kongress で採択された。カナダからは日本の対応の不十分さ、実行の遅れに対し、督促されている。

【フリーディスカッション】

- ・事実について、学ぶことが必要。
- ・戦争を知らない世代が増えている。
- ・世界各地に兵士として活動している子供が大勢いる。
- ・戦争放棄に対する縛りをきちんとする。
- ・中国、韓国の慰安婦問題。実際に現地の体験は無残なものである。
- ・広島原爆資料館へ子供達の訪問件数が減っている。
- ・戦争体験者として通常は平和を口にする人でさえ、戦争が始まると、狂人のように変わってしまう恐ろしい体験をした。

提言：

戦争は絶対に起こしてはならない。そのためにも憲法 9 条は守るべきものである。

第5回ヤングスピーチコンテスト全国大会審査結果

2003年より開催してきたヤングスピーチコンテストは福岡大会で第5回目となりました。今回も素晴らしい5名のスピーチが披露されました。

最優秀賞

藤井希美さん (中部ブロック代表)

連合会会長賞

深澤夕紀さん (関東・山梨ブロック代表)

ヤング BPW 賞

遠藤みくりさん (東北・北海道ブロック代表)

奥広子さん (近畿ブロック代表)

西本美紀さん (西日本ブロック代表)



(写真上: 左から深澤さん、西本さん、遠藤さん、藤井さん、奥さん)

(写真右: 最優秀賞の藤井希美さん)



審査の経緯

審査委員長余語副会長のもと、各クラブ会長らによる合計 28 名で審査をしました。

北海道農政部農村振興局農村整備課田園整備グループに所属する遠藤みくりさんは、北海道職員という仕事を通して得ることができた経験を活かしてこれからも自分なりの仕事をしていく抱負を、山梨県南消防署警防係に所属する深澤夕紀さんは、山梨県初の女性消防官としての毎日の奮闘と救急士になる夢を、(株)日立製作所調達統括本部に所属する藤井希美さんは、日本の技術を通じて社会に貢献し続ける日立への入社を決意したいきさつと、周囲の人々への感謝の気持ちを忘れずに目標実現のために精進していく抱負を、フラワーアレンジメントのディスプレイや講習を生業とする奥さんは、今の積極的な活動のために結婚後に留学した経験や、花を通して再確認した子どもたちの感受性を大切にしたいという夢を、またノバルティス・ファーマで MR (医薬情報担当者) として働く西本美紀さんは、女性の活躍が目立つようになってきたこの職種の先輩として後輩の相談役になり、企業内外でダイバーシティの実践をしていきたいと熱く語りました。

講評を務めた福岡クラブ稗田慶子さんから、「各ブロックで選出されたスピーカーのスピーチはどれも素晴らしく、これからは仕事を持つ女性として活躍してほしい」とコメントをいただきました。

CSW インターン第5期生帰国速報!!

松下希和 (津田塾大学)

先日、NY でのインターンシップを終えて日本に帰国いたしました。

CSW に参加できたこと、非常に良い経験となりました。初めての国連、初めての NY、初めての国際会議ということで初めてだらけでしたが、引率して下さった黒崎様と平松様にとても良くして頂いて募りに募っていた不安も徐々に解消され、楽しむことができました。お二人のパワーとエネルギー、そしてたくさんのすてきな女性達との出会いに非常に刺激を受けました。このインターンに参加できて、国連に入れて討議の様子を見ることができたこと、どのように決議案を出したりどのように NGO と協力をしているかを見ることができたことだけでも非常に勉強になりましたが、人々

との出会いも非常に貴重な

経験となりました。世界各国からそれぞれのキャリアを築き、それぞれの活動をしている素敵でパワフルな女性達に出会えたことは非常に素敵な経験となりました。

このインターンシップは忘れられない経験になりました。これも一重に BPW、会員や役員の皆様、そして引率して下さった平松様と黒崎様のおかげです。参加させていただきありがとうございました。感謝申し上げます。これからも、この経験をただの経験にとどめず、人生の糧にして生かしていけたらと思います。情報収集なども積極的にしていけたらと思います。皆様には本当にお世話になりました。有難うございました。これからもよろしくお願い致します。

日本BPW連合会 50周年記念公開国際シンポジウム
「これからの働き方を考える
～女性の視点で&グローバルに～」のご案内

日時 2008年6月14日(土) 13:50～17:00

会場 女性と仕事の未来館:港区芝 5-35-3

TEL:03-5444-4151

JR 田町駅三田口(西口)から徒歩3分・地下鉄
三田駅 A1 出口から徒歩1分

[URL] <http://www.miraikan.go.jp/english/index.html>

1958年、3つの有職婦人クラブ(東京、名古屋、横浜)が集まって連合会組織となり、国際有職婦人連合会(IFBPW)に加盟し、それから50年が経過しました。この50年間、日本でも、世界でも経済的自立をめざして働く女性の数も増えています。しかし、まだまだ解決すべき問題もあり、海外の女性たちの現状を聞きながら、働く女性の理想的な将来像について考えたいと思います。BPW会員だけでなく、一般の方々の多くのご参加をお待ちしております。

第1部「世界のワーキング・ウーマン」現状報告

参加 BPW 各国の報告: (予定) エジプト、ネパール、台湾、マレーシア、メキシコ、日本

第2部 パネルディスカッション「これからの働き方を考える」

問題点と解決策を探る・今後10年の達成目標は・・・

“Making a Difference through Leaders”(BPWテーマ)

コーディネーター 名取はにわ

(前内閣府男女共同参画局長)

パネリスト チョンチャノック・ピラバン

(BPW-International 会長、タイ)

リズ・ベーナム

(BPW-International 副会長、アメリカ)

鈴木邦子

(農業女性問題研究者/BPW 米沢クラブ)

参加費 BPW 会員参加登録費 13,000 円(5月
10日までの早期申込は 11,000 円)
一般(非会員) シンポジウムのみ 1,000 円
+懇親会 4,000 円

※同時通訳付(第1部、第2部共に)

※終了後、同館内4階会議室にて懇親会を予定しています。(17:30～19:00)

第26回 BPW-International コンgressの開催
および各種情報について

コンgress準備委員会を中心に情報を適宜、全国のみなさんにお知らせしていくようにしておりますが、まずは、重要な情報のみご紹介いたします。もっと詳しい情報はBPWIホームページにございますので、そちらもぜひチェックしてください。

1.開催期日 2008年10月24日～28日

2.開催地 メキシコシティ・メキシコ

会場: Gran Melia Mexico Reforma Hotel

3.コンgressテーマ “Power to Make a Difference”
(recognizing women's contribution through leadership, action and advocacy)

4.登録方法 登録用紙を下記 BPWI 会長事務所宛にメールまたは FAX・郵送で送付

5.登録締め切り 10月16日まで

6.参加登録料金 早期登録割引あり(6月24日まで)

7.登録料金支払い方法 ①クレジットカードによるオンライン送金(ホームページ上は未機能)

②銀行振込み(振込先は現在未指定)

8.キャンセル料・・・9月17日以降のキャンセルについては50ドルを徴収

9.BPWI のメキシココンgressに関する情報ホームページ:

E-mail: BPW-Congress-26@googlegroups.com

Fax: +66-2-391-2120 OR

Mail: 46 Sukhumvit Soi 61, Wattana, Bangkok 10110, THAILAND.

<http://www.bpw-international.org/XXVI-congress/about-congress.htm>

＊参加登録料について＊

早めに登録すると、お得です。

(円高の時期を逃さないよう、お勧めします。)

全期間参加: 6月25日までの早期申込 \$460

9月16日までの通常申込 \$560

10月16日までの直前申込 \$660

非会員(\$360)・同伴者(\$125)は別料金
(参加イベント制限有)

その他追加料金で楽しめるお別れ夕食会・フェロー&フレンズ夕食会・フリーター・カーロ生家見学・YBPW ナイトなども有。

■お知らせ

2008 年度ブロック研究会

北海道・東北 11 月 1 日（土）
 （担当：米沢クラブ）
 関東・山梨 5 月 17 日（土）
 （担当：山梨クラブ）
 中部 7 月 12 日（土）
 （担当：東海クラブ）
 近畿 9 月 27 日（土）
 （担当：京都クラブ）
 西日本 11 月 29 日（土）
 （担当：香川クラブ）

次回は札幌で会いましょう！

次回全国大会・総会は札幌に決定！札幌クラブの皆様、どうぞよろしく願いいたします。また全国の皆様、奮ってご参加ください。

会報広告費振込先（会計口座と同じになりました）

振込先：みずほ銀行 新橋支店
 普通預金 1306469
 口座名義：日本 BPW 連合会 会計
 藤田ひろみ

お振込み時のお願い

○振込名は BPW を省略して、クラブ名のみ記載願います
 ※通帳表記は全角 8 文字迄
 悪い例×1 ビーピーダブル
 ×2 ビーピーダブル
 いずれもクラブ名が不明

■■■会報 39 号広告掲載一覧■■■

ご協力ありがとうございました

クラブ	掲載名	P	枠	金額
札幌	BPW 札幌クラブ	35	2W	30,000
旭川	BPW 旭川クラブ	36	2W	30,000
苫小牧	BPW 苫小牧クラブ	37	2W	30,000
青森	BPW 青森クラブ	31	2W	30,000
仙台	BPW 仙台クラブ	102	1P	40,000
山形	BPW 山形クラブ	38	2W	30,000
米沢	BPW 米沢クラブ	39	2W	30,000
東京	プチポアン（久家道子エッセイ・ロイタリー）	32	1W	110,000
	タカギ	86	1P	
	お好み焼き つばさ	68	1W	
	森の玉手箱	64	1P	
武蔵野	BPW 武蔵野クラブ	40	2W	30,000
関東	細川民族舞踏研究会	50	1P	40,000
山梨	BPW 山梨クラブ	41	2W	30,000
名古屋	BPW 名古屋クラブ	33	2W	30,000
東海	BPW 東海クラブ	52	1P	45,000
	高野医院	85	1W	
愛知	BPW 愛知クラブ	30	2W	30,000
アイリス東海	BPW アイリス東海クラブ	100	2W	30,000
岐阜	BPW 岐阜クラブ	42	2W	30,000
京都	BPW 京都クラブ	43	2W	30,000
大阪	BPW 大阪クラブ	44	2W	30,000
神戸	BPW 神戸クラブ	45	2W	30,000
和歌山	BPW 和歌山クラブ	22	1P	40,000
香川	BPW 香川クラブ	46	2W	30,000
福岡	BPW 福岡クラブ	21	1P	40,000
北九州	BPW 北九州クラブ	34	2W	30,000
長崎	BPW ながさきクラブ	48	2W	60,000
	長崎県女性医師の会	47	2W	

■編集後記

広報委員長二年目となりました。今年はイベント盛り沢山ですし、より一層広報活動を行っていきたいと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。（二ノ宮）



（福岡クラブの皆さん）